

株主の皆様へ

株式会社クレハ

KUREHA CORPORATION

株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会	6月
株主確定基準日	・定時株主総会／期末配当 3月31日 ・中間配当 9月30日 ・その他必要がある時は、取締役会の決議によってあらかじめ公告します。
公告方法	当社のWebサイトに掲載します。 (http://www.kureha.co.jp/ir/koukoku.htm) ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
株主名簿管理人	東京都中央区八重洲1-2-1 みずほ信託銀行株式会社
同事務取扱場所	東京都中央区八重洲1-2-1 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
(郵便物送付先) 電話お問い合わせ先	〒135-8722 東京都江東区佐賀1-17-7 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-288-324 (フリーダイヤル) ※2009年1月5日より、当社株主名簿管理人であるみずほ信託銀行への郵便物送付先が、移転のため以下のとおり変更となります。なお、電話番号は変わりません。 〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4
同 取 次 所	みずほ信託銀行株式会社 全国各支店 みずほインベスターズ証券株式会社 本店および全国各支店

お知らせ

2009年1月より株券が電子化されます。そのため株式に関するお手続きに変更がある場合がございますのでご注意ください。詳しくは、上記「電話お問い合わせ先」にお問い合わせください。

なお、証券会社等をご利用の場合は、引き続きご利用の証券会社等へご連絡願います。

クレハレポート

第96期中間報告書

2008年4月1日から2008年9月30日まで

株主の皆様へ

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社第96期中間期(2008年4月1日から2008年9月30日まで)の「クレハ レポート(第96期中間報告書)」をお届けするにあたり、ご挨拶申し上げます。

当中間期の方が国経済は、原燃料価格が依然高水準のなか、米国金融危機に端を発した世界的景気減速を受け、景気を支える主要因である輸出の鈍化により、景気の転換期に入ってまいりました。

化学工業におきましては、原燃料価格高騰の製品価格転嫁の余地は狭まりつつあり、内需・輸出ともに振るわないことから、設備の新增設抑制あるいは減産の動きが表れてまいりました。

当社およびグループ各社はこのような状況のもと、当期を初年度とする新中期経営計画「中期経営計画 Grow Globally」(略称:「中計GG」)を策定し、グローバル展開による既存事業の推進、新規事業の着実な育成に向けて取り組んでおります。その結果、当中間期の売上高は736億49百万円、営業利益は58億37百万円、経常利益は54億70百万円となりました。純利益につきましては、特別損失として「棚卸資産の評価に関する会計基準」を当期首在庫の評価から適用したことに伴う簿価切り下げ額の計上等をした結果、21億2百万円となりました。

以上の状況のもと、当社は「剰余金の配当等の決定に関する方針」に定めたとおり、利益配分は業績変動の影響はあるものの、安定的・継続的な配当を実施することが肝要と考えており、当中間配当金は当初予定どおり、1株につき5円とさせていただきます。

当社は、ありたい姿としての“エクセレント・カンパニー”を目指し、チャレンジし続け、経済・社会環境変化への適応、地球環境との調和を図り、コンプライアンス(法令および社会的規範の遵守)を実践し、地球市民の一員として企業の社会的責任を果たしてまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2008年12月



代表取締役社長
岩崎隆夫

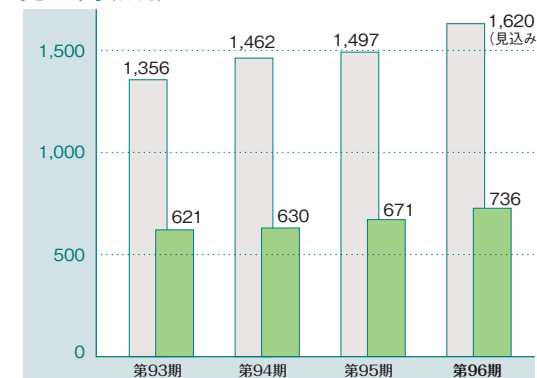
KUREHA

連結財務 ハイライト

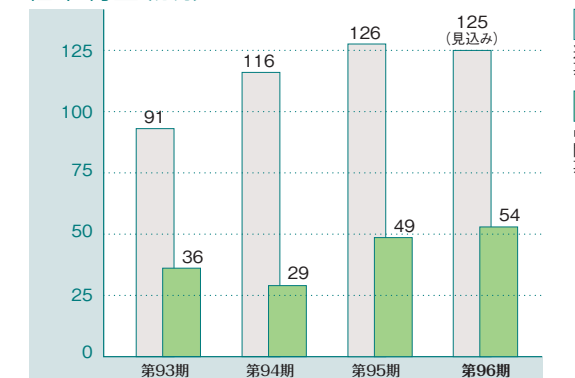
		第93期 2005年度	第94期 2006年度	第95期 2007年度	第95期(前中間期) 2007年度	第96期(当中間期) 2008年度
売上高	(百万円)	135,627	146,255	149,775	67,163	73,649
営業利益	(百万円)	9,708	11,841	12,722	4,861	5,837
経常利益	(百万円)	9,185	11,682	12,661	4,934	5,470
当期純利益	(百万円)	5,171	5,832	6,096	1,302	2,102
総資産	(百万円)	185,203	196,106	187,349	191,842	195,298
株主資本・純資産*	(百万円)	98,357	107,349	104,582	104,677	104,885
自己資本比率	(%)	53.1	54.2	55.2	54.1	53.2
1株当たり当期純利益	(円)	27.61	31.58	33.39	7.10	11.65
1株当たり純資産	(円)	535.26	578.09	572.24	566.26	576.39

※第93期は従来の「株主資本」での記載になっております。

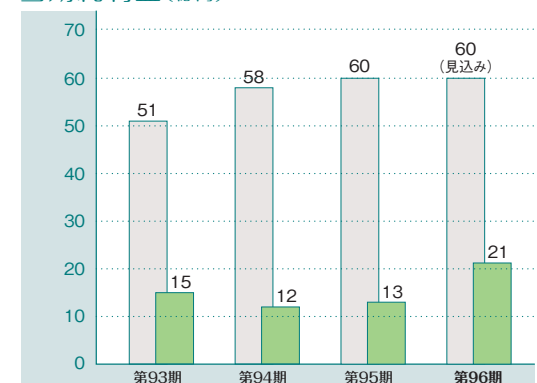
売上高(億円)



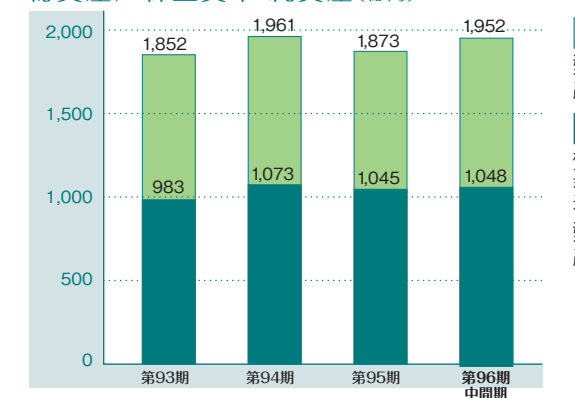
経常利益(億円)



当期純利益(億円)



総資産/株主資本・純資産(億円)



※第93期は従来の「株主資本」での記載になっております。

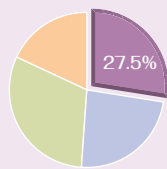
セグメント別営業の概況

機能製品事業

■当セグメントの売上高

当中間期(第96期) 前中間期(第95期)
2008年9月30日現在 2007年9月30日現在

20,278(百万円) 18,825(百万円)



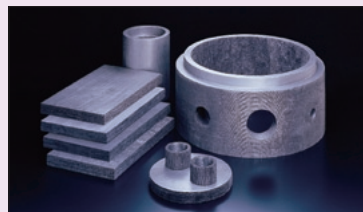
■売上高構成比

機能樹脂分野では、PPS樹脂は自動車用途および電気・電子素材用途の需要が鈍化し、特に米国における合弁事業の不振の影響が大きく、前年同期に比べ売上げ、営業利益ともに減少いたしました。ふっ化ビニリデン樹脂は携帯電話やパソコン等向けのリチウムイオン二次電池用バインダー用途の需要拡大により、前年同期に比べ売上げ、営業利益ともに増加いたしました。

炭素製品分野では、炭素繊維は太陽電池パネル製造用等の高温熱処理炉向け断熱材用途の需要拡大により、前年同期に比べ売上げ、営業利益ともに増加し、球状活性炭は輸出が減少し、前年同期に比べ売上げ、営業利益ともに減少いたしました。

なお、前期まで樹脂製品事業に含めておりましたクレハ エクステック(株)は、事業再編により機能製品事業の割合が増加し、今後もこの傾向が予想されるため、当期より機能製品事業として区分することに变更いたしました。

この結果、本セグメントの売上高は202億78百万円、営業利益は13億77百万円となりました。



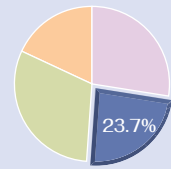
炭素繊維製成形断熱材

化学製品事業

■当セグメントの売上高

当中間期(第96期) 前中間期(第95期)
2008年9月30日現在 2007年9月30日現在

17,419(百万円) 15,570(百万円)



■売上高構成比

医薬・農薬分野では、慢性腎不全用剤「クレメジン」は売上げが増加、抗悪性腫瘍剤「クレスチン」は売上げが減少、麦・菜種用殺菌剤「メトコナゾール」は輸出が大幅に増加して、この分野の営業利益は前年同期に比べ増加いたしました。

工業薬品分野では、か性ソーダ・塩酸等の無機薬品類は販売価格が上昇したものの、販売数量は減少し、クロルベンゼン類は販売数量が増加したものの、輸出を中心に販売価格は下降し、この分野の営業利益は前年同期に比べ減少いたしました。

この結果、本セグメントの売上高は174億19百万円、営業利益は29億44百万円となりました。



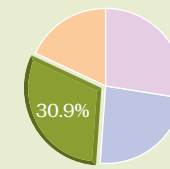
慢性腎不全用剤「クレメジン」

樹脂製品事業

■当セグメントの売上高

当中間期(第96期) 前中間期(第95期)
2008年9月30日現在 2007年9月30日現在

22,754(百万円) 24,116(百万円)



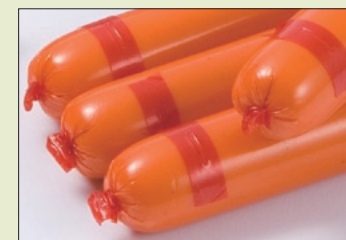
■売上高構成比

コンシューマー・グッズ分野では、家庭用ラップ「NEWクレラップ」、ふっ化ビニリデン釣糸「シーガー」ともに改良された商品価値を反映する市場価格形成に注力し、この分野の売上げ、営業利益ともに前年同期に比べ増加いたしました。

業務用食品包装材分野では、国内については、ラミネート用ハイバリア・フィルム「ベセーラ」、多層ボトルの売上げは横這いとなりましたが、塩化ビニリデン・フィルム、熱収縮多層フィルムの売上げは増加し、また、欧州子会社の売上げも増加して、この分野の営業利益は前年同期に比べ増加いたしました。

包装機械は国内において新型のクリップレス自動充填結紮機の大口出荷が一巡し、中国向けの塩化ビニリデン・コンパウンドは販売価格引上げを優先して数量減となったため、両製品ともに営業利益は前年同期に比べ減少いたしました。

この結果、本セグメントの売上高は227億54百万円、営業利益は11億58百万円となりました。



アルミクリップレス包装されたソーセージ

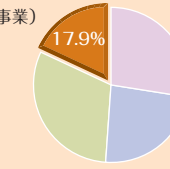
その他事業

(左記に属さないグループ会社の事業)

■当セグメントの売上高

当中間期(第96期) 前中間期(第95期)
2008年9月30日現在 2007年9月30日現在

13,196(百万円) 8,649(百万円)



■売上高構成比

環境関連分野では、産業廃棄物処理の増加、環境アセスメントおよび土壌汚染調査等の増加があり、売上げは増加いたしました。廃棄物の運送および燃料費等処理費の増加により前年同期に比べ営業利益は減少いたしました。

建設関連分野では、前期での建築基準法改正の影響により遅れていた工事の完工に加え、プラント建設の増加もあったこと等により、前年同期に比べ売上げ、営業利益ともに大幅に増加いたしました。

運輸・倉庫関連分野では、運送部門の競争激化による販売の落ち込みを倉庫部門の数量増加で一部補い売上げは増加いたしました。燃料費高騰の影響により前年同期に比べ営業利益は減少いたしました。

この結果、本セグメントの売上高は131億96百万円、営業利益は6億62百万円となりました。



クレハ錦建設株施工賃貸マンション

財務諸表(連結) 2008年9月30日現在

※記載金額は百万円未満の端数を切り捨てて表示しております。

連結貸借対照表 (単位:百万円)

資産の部		
科目	当中間期(第96期) 2008年9月30日現在	前期(第95期) 2008年3月31日現在
流動資産		
現金および預金	5,633	6,120
受取手形および売掛金	32,890	35,120
有価証券	5	5
商品および製品	14,364	13,940
仕掛品	5,840	2,875
原材料および貯蔵品	5,843	4,974
その他	7,981	6,638
貸倒引当金	▲197	▲187
流動資産合計	72,362	69,487
固定資産		
有形固定資産		
建物および構築物(純額)	26,574	26,269
機械装置および運搬具(純額)	25,535	25,309
その他(純額)	22,694	20,184
有形固定資産合計	74,804	71,763
無形固定資産		
のれん	337	-
その他	888	935
無形固定資産合計	1,226	935
投資その他の資産		
投資有価証券	29,785	29,489
その他	17,696	16,248
貸倒引当金	▲576	▲575
投資その他の資産合計	46,904	45,162
固定資産合計	122,935	117,861
資産合計	195,298	187,349

負債の部		
科目	当中間期(第96期) 2008年9月30日現在	前期(第95期) 2008年3月31日現在
流動負債		
支払手形および買掛金	22,574	20,601
短期借入金	15,069	18,542
未払法人税等	1,893	2,159
賞与引当金	2,289	2,025
役員賞与引当金	58	102
その他	15,559	14,843
流動負債合計	57,444	58,274
固定負債		
社債	15,000	5,000
長期借入金	7,638	8,498
退職給付引当金	2,123	2,417
役員退職慰労引当金	387	451
負ののれん	-	309
その他	7,818	7,815
固定負債合計	32,968	24,492
負債合計	90,412	82,766

純資産の部		
株主資本		
資本金	12,460	12,460
資本剰余金	10,013	10,013
利益剰余金	73,421	72,218
自己株式	▲1,850	▲1,553
株主資本合計	94,046	93,138
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	10,147	10,224
繰延ヘッジ損益	▲5	▲6
為替換算調整勘定	▲330	29
評価・換算差額等合計	9,811	10,248
新株予約権	33	19
少数株主持分	994	1,175
純資産合計	104,885	104,582
負債・純資産合計	195,298	187,349

連結損益計算書 (単位:百万円)

科目	当中間期(第96期) 2008年4月1日から 2008年9月30日まで	前中間期(第95期) 2007年4月1日から 2007年9月30日まで
売上高	73,649	67,163
売上原価	52,992	46,904
売上総利益	20,657	20,259
販売費および一般管理費	14,819	15,397
営業利益	5,837	4,861
営業外収益	801	870
営業外費用	1,168	796
経常利益	5,470	4,934
特別利益	138	997
特別損失	1,802	2,106
税金等調整前当期純利益	3,806	3,825
法人税等	1,752	2,763
少数株主損失(減算)	▲49	▲240
当期純利益	2,102	1,302

連結キャッシュ・フロー計算書 (単位:百万円)

科目	当中間期(第96期) 2008年4月1日から 2008年9月30日まで	前中間期(第95期) 2007年4月1日から 2007年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,386	4,584
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲8,419	▲2,654
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,464	▲1,595
現金および現金同等物に係る換算差額	81	30
連結範囲の変更による 現金および現金同等物の増加額	-	178
現金および現金同等物の増減額	▲487	542
現金および現金同等物の期首残高	6,120	4,278
現金および現金同等物の期末残高	5,633	4,821

主な連結対象会社 (2008年9月30日現在)

連結子会社数: 34社
持分法適用会社: 1社

機能製品事業(全9社)

加古川プラスチック(株)
レジナス化成(株)
クレハ エクステック(株)
日本エクストロン(株)
クレハ GmbH[ドイツ]
クレハ・アメリカINC.
クレハ・アドバンスド・マテリアルズINC.[アメリカ]
クレハ・ピージーエーLLC[アメリカ]
上海呉羽化学有限公司[中国]

樹脂製品事業(全9社)

クレハプラスチック(株)
クレハ合繊(株)
クレハロン・インダストリーB.V.[オランダ]
クレハ・ヨーロッパB.V.[オランダ]
上海呉羽貿易有限公司[中国]
南通匯羽豊新材料有限公司[中国]
(持分法適用会社)
その他 3社

その他事業(全17社)

(株)クレハ環境
(株)クレハ分析センター
(株)クレハエンジニアリング
クレハ錦建設(株)
クレハ運輸(株)
錦商事(株)
クレハサービス(株)
クレハスタッフサービス(株)
その他 9社

新中期経営計画

“Grow Globally” グローバル展開により成長します

当社は、このたび、2008年度を初年度とし2012年度までの5ヶ年の新中期経営計画「**中期経営計画 Grow Globally**(グローバル展開による成長)」（略称「**中計GG**」）を策定しました。現在、最終年度が進行中の「**中期経営計画Big Jump**」（略称「**中計BJ**」）の反省も踏まえ、新たな「**中計GG**」に基づく経営ビジョンについて、お知らせいたします。

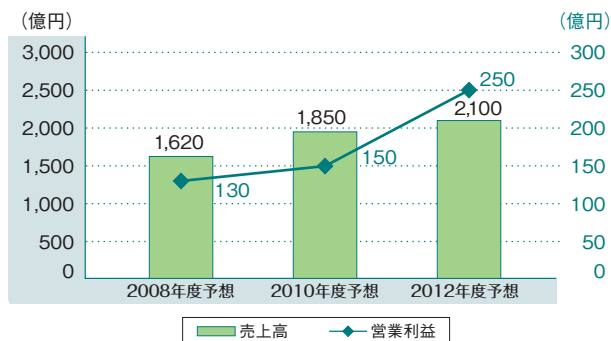
1. 現計画「中期経営計画Big Jump」の振り返り

現在進行中の「中計BJ」は、2005年度から今年度(2008年度)までを対象とし、“収益拡大を伴う業容の拡大”と“グローバル展開”、そして“次世代を担う商品の開発”を中心に取り組んでまいりました。これまでのところ、既存事業の収益力向上はほぼ計画どおりの進捗となり、グローバル展開は、炭素繊維や塩化ビニリデン樹脂の海外拠点の拡充・新設に着手、慢性腎不全用剤の欧米でのフェーズⅢ試験の開始など、順調に進捗しています。

次世代商品の開発においては、ハイバリア・フィルム「ベセーラ」などの育成・開発商品は当初計画比で未達となりましたが、ポリグリコール酸樹脂「クレハPGA」は2007年12月に事業化を決定し、2008年4月に米国でのプラント建設に着手しました。

■ 定量目標

2010年度目標:売上高1,850億円 営業利益150億円
2012年度目標:売上高2,100億円 営業利益250億円



2. 「中期経営計画Grow Globally」における経営ビジョン

「**中計GG**」では、2005年に制定した企業理念体系に基づき、ありたい姿としての“**エクセレント・カンパニー**”を目指し、グループ一丸となって**グローバルな成長の実現と新規事業の着実な成果実現**に向けてチャレンジし続けます。経済・社会環境変化への適応、地球環境との調和をはかりながら、地球市民の一員として社会に貢献してまいります。

当社は、「**中計GG**」において、下記のCSR(企業の社会的責任)の考え方に基づいた事業運営を行います。

- ・地球環境や人々の暮らしに有益なソリューションの提供* (環境的・社会的価値)
- ・持続的成長をもたらす改革と事業拡大による経済的価値の向上 (経済的・社会的価値)
- ・成長の原動力となる人財の育成・確保およびコンプライアンスと安全を重視した企業体質の確立 (社会(組織)的価値)

※商品例:PGA(省石油資源)、炭素繊維(太陽光発電用部材製造)、炭素材料(ハイブリッド自動車用素材)、フッ化ビニリデン樹脂(ハイブリッド自動車用素材、水処理膜用素材)、医薬品(慢性腎不全用剤)、農薬(殺菌剤)、ハイバリア包装材料(家庭用ラップ、食品用フィルム)、環境関連事業(処理困難廃棄物の処理、高度分析技術)

これらの経済的価値・環境的価値・社会的価値の総和である企業価値を向上させ、経済の変動リスク、環境・資源リスク、市場変化や競争激化などの事業リスクに対し、機動的な決断と実行によって乗り越え、“**エクセレント・カンパニー**”を目指して運営してまいります。

トピックス

使いやすさを向上させた「NEWクレラップ」に高い評価

家庭用ラップ「NEWクレラップ」は2008日本パッケージングコンテスト(社団法人日本包装技術協会主催)の食品包装部門賞と2008年度グッドデザイン賞(財団法人日本産業デザイン振興会主催)を受賞いたしました。

日本パッケージングコンテストは5年連続の受賞、グッドデザイン賞は3年連続4回目の受賞となります。

「NEWクレラップ」は2004年から5年連続でパッケージのリニューアルをしてまいりました。“いちばんうれしいラップになろう。”を基本コンセプトに今後も商品改良を継続し、お客様満足度の向上に努めてまいります。



テレビCM:クルリ・クルミちゃんシリーズ 第9作目

植物生まれのプラスチック刃になりました。



■お徳用レギュラー 50m巻

■お徳用ミニ 50m巻

炭素繊維の中国生産拠点を増強

太陽光発電システムや半導体用のシリコンの製造工程等で断熱材として使用されるクレハの炭素繊維。その需要は年々高まっており、グローバルな供給体制を構築しているところです。中国での生産拠点である上海呉羽化学有限公司は設備増強にあわせ、現在の上海嘉定工業区南区から嘉定工業区北区へ移転し、新工場を建設することになりました。来春からの操業開始に向けて、2008年5月に建設予定地で起工式を行い、工事の安全と事業計画の成功を祈願いたしました。



起工式・くわ入れの儀

会社の概要

■会社の概要 (2008年9月30日現在)

商号 株式会社クレハ
 本店 東京都中央区日本橋浜町3-3-2
 設立 1944年6月21日
 資本金 12,460百万円
 グループ従業員数 3,942名(単独:1,294名)

■事業所 (2008年9月30日現在)

支店 大阪支店
 営業所 名古屋営業所、福岡営業所、仙台営業所
 事業所 いわき事業所(福島県いわき市)
 研究所 総合研究所(福島県いわき市)
 生物医学研究所(東京都新宿区)
 加工商品研究所(茨城県小美玉市)
 駐在事務所 上海駐在員事務所(中国上海市)

当社の概要は、Webサイトでもご覧いただけます。

<http://www.kureha.co.jp/>



当社Webサイトに「個人投資家のみなさまへ」を開設しております。身近にあるクレハ製品や、業績の概況についてご説明しておりますので、ぜひご覧ください。

「TOPページ」→「投資家情報」→「個人投資家のみなさまへ」
<http://www.kureha.co.jp/ir/personal/index.html> からご覧ください。

■取締役・監査役・執行役員 (2008年9月30日現在)

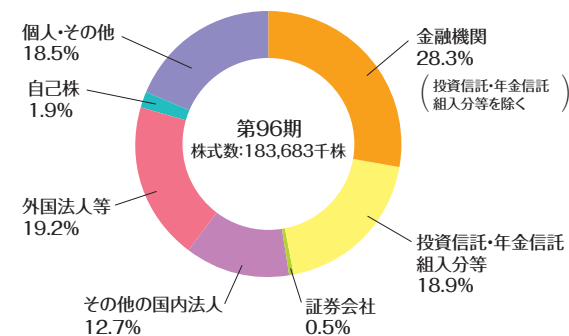
取締役会長(取締役会議長) 田中 宏
 代表取締役社長(経営会議議長) 岩崎 隆夫
 代表取締役副社長 内山 正樹
 代表取締役専務執行役員 藤井 雅彦
 代表取締役専務執行役員 萩野 弘二
 取締役専務執行役員 重田 昌友
 取締役専務執行役員 鈴木 直哉
 取締役常務執行役員 宗像 敬吉
 独立社外取締役 斉藤 邦彦
 独立社外取締役 高橋 武

常勤社外監査役(監査役会議長) 平野 恭昌
 常勤監査役 亀山 裕通
 常勤監査役 阿久根 豊
 社外監査役 木村 和俊

常務執行役員 小林 豊
 常務執行役員 佐川 正
 常務執行役員 宮守 保
 常務執行役員 須能 則和
 執行役員 蛭田 宣行
 執行役員 梶田 誠一郎
 執行役員 萩原 博
 執行役員 紫垣 由城
 執行役員 砂川 和彦
 執行役員 渋谷 幸広
 執行役員 福沢 直樹
 執行役員 国井 英一

株式の概況

■株式の所有者別構成比 (2008年9月30日現在)



■株式の状況 (2008年9月30日現在)

発行可能株式総数 600,000,000株
 発行済株式の総数 183,683,909株
 株主数 16,416名

■大株主の状況 (2008年9月30日現在)

株主名	所有株式数(千株)	出資比率(%)
明治安田生命保険相互会社	13,746	7.6
東京海上日動火災保険株式会社	13,368	7.4
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	12,771	7.1
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	8,455	4.7
株式会社みずほコーポレート銀行	6,958	3.9
第一三共株式会社	5,830	3.2
ステート・ストリート・バンク・アンド・トラスト・カンパニー-505019(アイルランド)	4,471	2.5
丸紅株式会社	4,462	2.5
ジュニパー(サウジアラビア)	4,132	2.3
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4G)	3,731	2.1

注)出資比率は、自己株式(3,496千株)を控除して計算しています。

■株価および出来高の推移

